

お知らせ

記者発表資料 | 平成28年1月21日

- 同時発表先：合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ
広島県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ
中国地方建設記者クラブ

平成27年度 中国地方整備局入札監視委員会 第一部会第3回定例会議の議事概要について

中国地方整備局入札監視委員は第一部会第3回定例会議を平成27年12月18日（金）に開催しました。

会議では平成27年7月1日から平成27年9月30日までの間に発注した「工事」「建設コンサルタント業務等」「役務の提供等及び物品の製造等」の中から抽出した10件の事案について、入札・契約の過程並びに契約内容について審議がなされました。

議事概要については別紙のとおりです。

<問い合わせ先>

中国地方整備局入札監視委員会事務局

（第一部会）082-221-9231（代表）

主任監査官	あかぎ まもる 赤木 護	(内線2114)
総務部 契約管理官	きのした かずたか 木野下 和孝	(内線2222)
企画部 技術開発調整官	なかがわ てつし 中川 哲志	(内線3120)

【広報担当窓口】

広報広聴対策官	ひらかわ まさふみ 平川 雅文	(内線2117)
企画部 環境調整官	た お かずなり 田尾 和也	(内線3114)

中国地方整備局入札監視委員会（第一部会）審議概要

開催日時及び場所	平成27年12月18日（金） 14時00分～17時00分 中国地方整備局 建政部 3階会議室	
委員	部会長 竹下 祐二（大学院教授） 委員 河合 研至（大学院教授） 委員 平野 実（大学教授） 委員 福田 和恵（公認会計士・税理士） 委員 水中 誠三（弁護士）	
審議対象期間	平成27年7月1日 ～ 平成27年9月30日	
抽出案件	総件数 10件	（備考） 審議対象工事等の案件については、 別紙1のとおり
○工事		
一般競争入札方式 （WTO 対象）	1件	
一般競争入札方式 （WTO 対象外）	5件	
○建設コンサルタント業務等		
簡易公募型競争入札方式	1件	
簡易公募型プロポーザル方式	1件	
随意契約方式	1件	
○役務の提供等及び物品の製造等		
一般競争入札方式	1件	
	意見・質問	説明・回答
委員からの意見・質問、 それに対する回答	別紙2のとおり	別紙2のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

抽出事案一覧表

【工事】

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事)

工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
太田川矢口川排水機場機械設備工事	機械設備工事	10	10	平成27年7月9日	(株)日立製作所

(一般競争入札方式: 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
国道2号大樋橋拡幅下部その5工事	一般土木工事	10	10	平成27年7月23日	(株)三幸工務店
東広島バイパス海田高架橋アンカーフレーム設置工事	鋼橋上部工事	2	2	平成27年8月14日	エム・エム ブリッジ(株)
国道54号道路附属物設置工事	維持修繕工事	2	2	平成27年9月25日	(株)加藤組
中海・宍道湖排水門ゲート更新外工事	機械設備工事(水門)	3	3	平成27年9月8日	東洋プラント(株)
土師ダム放流制御設備工事	通信設備工事	4	4	平成27年9月7日	日本無線(株)

【建設コンサルタント業務等】

(簡易公募型競争入札方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び 業務実施上の条件を満たす 参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
小田川付替設計施工検討外業務	土木関係建設コンサルタント業務	3	3	平成27年8月7日	(株)エイト日本技術開発

(簡易公募型プロポーザル方式)

業務名	業種区分	手続への参加資格及び 業務実施上の条件を満たす 参加表明書の提出者数	入札参加者数	契約締結日	契約の相手方
弥栄ダム耐震性能照査業務	土木関係建設コンサルタント業務	4	4	平成27年9月25日	(株)建設技術研究所

(随意契約方式)

業務名	業種区分			契約締結日	契約の相手方
広島合同2号館改修設計その2業務	建築関係建設コンサルタント業務	-	-	平成27年7月16日	(株)あい設計

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

業務名	業務分類	競争参加資格を 確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方
全国都市交通特性調査(中国ブロック)	役務[調査・研究]	2	2	平成27年7月7日	(株)サーベイリサーチセンター

意見・質問	説明、回答
1. 報告及び審議	
(1) 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
<p>1) 入札方式別発注工事 2) 入札方式別発注業務 3) 入札方式別発注役務の提供等及び物品の製造等 4) 指名停止等の運用状況 5) 談合情報等への対応状況 6) 再度入札における一位不動状況 7) 工事種別毎の低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況</p> <p>意見・質問等なし</p>	
(2) 抽出事案審議	
<p>1) 太田川矢口川排水機場機械設備工事</p> <p>Q 1. 調査基準価格を下回った2社について、ヒアリングを実施したが、不十分な結果となり、施工体制の項目の加算点が0点であったとの説明だが、具体的には何が不十分であったのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 品質確保の観点から施工体制に関する追加資料を事前に提出させ、ヒアリングを実施したが、2社とも施工体制の確認資料に不備があり、ヒアリングに対する回答も明確ではなかったもの。</p>
<p>2) 国道2号大樋橋拡幅下部その5工事</p> <p>Q 1. 予定価格内で一番入札価格の高かった者が、結果として、評価値が一番高く、落札者となっているが、どのような点が特に評価されたものか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 当該落札者は、技術提案だけでなく、会社及び技術者の同種工事における実績、過去の工事成績等においても全体的に評価が高かったものである。</p>
<p>3) 東広島バイパス海田高架橋アンカーフレーム設置工事</p> <p>Q 1. 入札参加者が2社のみという事だが、考えられる要因はあるか。</p> <p>Q 2. 入札方式を決定する際の工事難易度が「やや難」という事だが、難易度はどのように設定しているのか。</p>	<p>A 1. 本工事は道路バイパス橋脚のアンカーボルト、アンカーフレームの設置工事であるが、別途施工中の橋脚の基礎工など近接した関連工事が多く、施工調整を図る必要があるなど現場での負担が大きいことから、参加者が少なかったと考えられる。</p> <p>A 2. 工事難易度については、工事内容と現場の環境状況をふまえて判断しており、本工事は工場製作した製品を現地に据え付けるもので、技術的な難易度は特に高くないが、関連工事との調整や制約も多いことから総合的には「やや難」と判断したものである。</p>

<p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	
<p>4) 国道 54 号道路附属物設置工事</p> <p>Q 1. 総合評価項目で配置予定技術者の同種工事の施工実績が有りで「8点」、無しでも「4点」とあるのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本工事は参加資格として同種工事における施工実績を求めており、当該項目は配置予定技術者のより同種性の高い工事実績の有無について加算を行ったものである。具体には一日あたりの交通量が5千台以上の交通規制を伴う工事実績を8点、5千台未満を4点としたものである。</p>
<p>5) 中海・宍道湖排水門ゲート更新工事</p> <p>Q 1. 工事難易度が「やや難」とあるのはどのような考えからか。</p> <p>Q 2. 応札3者のうち2者が予定価格超過、落札業者については予定価格よりかなり低い価格と、業者間で入札価格に大きな差があるのはなぜか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 製作を行う水門ゲートの構造が技術的難易度の高いものである点と、据付箇所が市街地であるためクレーンの設置など施工に配慮・調整が必要なことから総合的に「やや難」と判断したものである。</p> <p>A 2. 本工事費用の大部分は機器費であり、国の積算においては特別調査を実施し、入札参加者とは別に機器メーカー等から見積を聴取し、予定価格を算出している。これに対し、入札参加者は、自社で製作を行ったり、又は取引のある別メーカーに依頼するなど、各社で取引状況が異なるため、入札価格に差がついたと考えられる。</p>
<p>6) 土師ダム放流制御設備工事</p> <p>Q 1. 調査基準価格を下回り、施工体制に関する追加資料を提出させ、ヒアリングを実施した結果、当該業者と契約に至った事例はあるのか。</p> <p>Q 2. 追加資料を提出しない業者も多いということだが、条件が厳しいのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 業者から提出された資料及びヒアリングの結果により適正な施工体制が確保されていると判断されれば、契約に至る事例はある。</p> <p>A 2. 発注者として適正な品質確保のために、施工体制について多数の資料の提出を求めている。また資料を提出しても、評価項目において多くの加算点は見込めない事から、資料提出における労力を勘案して提出を行わない業者も多いと考える。</p>
<p>7) 小田川付替設計施工検討業務</p> <p>Q 1. 施工検討業務の積算はどのように行うのか。また、業者から見積を徴収して積算に反映させている割合は概ねどの位か。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 本業務の積算のうち65%の項目は公表している標準歩掛によるものであり、残り35%は、入札参加者から見積を徴収し、異常値を排除した平均値を歩掛として適用し、算出を行っている。</p>

<p>8) 弥栄ダム耐震性能照査業務</p> <p>Q 1. プロポーザル方式だと特定された相手方の見積をそのまま予定価格として採用するのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 標準歩掛の無い項目については、相手方の見積を採用するが、他の項目については国の単価・歩掛により積算を行っている。例を挙げれば旅費積算における考え方では相違もあり、必ずしも予定価格と見積額は一致しない。</p>
<p>9) 広島合同2号館改修設計その2業務</p> <p>Q 1. 基本設計を発注し、その後、実施設計を随意契約により発注し、同業者と契約締結を行う発注方法はマニュアル等に定められたものか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する</p>	<p>A 1. 本省通達に基づき、基本設計を競争契約で発注し、続く実施設計を随意契約により発注している。なお基本設計発注の際には、その後発注される実施設計を随意契約する予定である旨を公示文へ明示している。</p>
<p>10) 全国都市交通特性調査業務（中国ブロック）</p> <p>Q 1. 今回の役務については、本来等級区分はBであるが、C等級まで範囲を拡大して発注を行ったとの事だが、B等級とC等級の業者では技術力に差はあるのか。</p> <p>○本件入札・契約は適正であると判断する。</p>	<p>A 1. 物品役務における等級区分のランク付については、工事と違い過去の実績による技術評価（技術力）は考慮されておらず、自己資本金額等の経済力や経営状況を審査し、ランク付を行っており、技術力の差は反映されてない。</p>

<p>(3) 再苦情処理の報告</p> <p>該当事案なし</p>
<p>平成27年度 入札監視委員会</p> <p>第4回定例会議（第一部会） 平成28年3月14日（月） 14:00～</p> <p>中国地方整備局 建政部 3階会議室</p> <p>抽出委員 竹下委員</p>